



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 計画書・報告書の書き方

1. 計画書・報告書様式の変更点
2. 提出方法、提出先
3. 「計画書・報告書」作成の留意点
4. 「様式4 管理実態」対応のポイント



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～全体～

様式1号  
(総括票)

### 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

#### 1 事業者等の概要

氏名又は名称					
代表者名	氏名		役職名		
主たる事務所の所在地					
主たる事業の分類	大分類				
	中分類				
主たる事業の概要					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者			
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者			
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者			
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者			
	基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kJ				
CO <sub>2</sub> 起原二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>				
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>				
自動車の台数	台				
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>				

#### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	年度	計画期間	年度～	年度
報告対象年度	年度			

#### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	



計画書兼報告書は、計画書と報告書が一体となっている



計画書兼報告書は、入力欄が以下のように色分けされている

黄色：計画書作成時に入力し、報告書では内容を変更しない

緑色：計画書作成時に入力し、報告書で情報を更新する

青色：計画書作成時には入力せず、報告書作成時に入力する



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式2、3(提出書)～

様式2号

### 事業活動温暖化対策計画書提出書

長野県知事 殿

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

住所： \_\_\_\_\_  
(法人にあっては、本店又は主たる事務所の所在地)

氏名： \_\_\_\_\_  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

- ・代表者：ただし、委任可(委任状等)
- ・委託会社(運転管理等)は不可

長野県地球温暖化対策条例第12条第1項の規定により、事業活動温暖化対策計画書を提出します。

- ①温暖化対策責任者  
権限と責任(役員クラスの方を想定)

事業活動地球温暖化対策計画書	別添のとおり			
温暖化対策責任者	工場等の名称		部署名	
	所在地	〒		
	氏名		役職名	
	電話番号		FAX	
	電子メールアドレス			
計画書提出担当者(総括票)	工場等の名称		部署名	
	所在地	〒		
	氏名		役職名	
	電話番号		FAX	
	電子メールアドレス			
温暖化対策担当者(個別票)	工場等の名称		部署名	
	所在地	〒		
	氏名		役職名	
	電話番号		FAX	
	電子メールアドレス			

- ②計画書提出担当者(総括票)  
県との連絡窓口を想定

- ③温暖化対策担当者(個別票)  
個別票対象工場等の担当者

- ・計画書と報告書の提出書は**非公表**
- ・②と③は兼任可



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

### 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

#### 1. 事業者等の概要

氏名又は名称			
代表者名	氏名		役職名
主たる事務所の所在地			
主たる事業の分類	大分類	①	
	中分類		
主たる事業の概要			

・本社機能を有する事業所の所在地

・該当する区分全てにチェック

制度に該当する要件	<input type="checkbox"/> 条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者	②
	<input type="checkbox"/> 条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者	
	<input type="checkbox"/> 条例第12条第1項第2号に該当する事業者	
	<input type="checkbox"/> 上記以外(任意提出)の事業者	

・チェックにより網掛け部分に変化。網掛けのない部分に入力

		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kJ					
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>					
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>					
自動車の台数	台					
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>					

基準年度: 計画期間初年度の前年度  
計画期間: 提出した年度～2022年度  
報告対象年度: 当該年度

#### 2. 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	年度	計画期間	年度～年度
報告対象年度	年度		

・いずれかを必ず選択(複数選択可)  
・第三者の閲覧が可能となるよう表現

#### 3. 計画書(報告書)の公表方法等

<input type="checkbox"/> ホームページ	
<input type="checkbox"/> 印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/> その他	

# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」



しあわせ信州

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

### 【基本方針】

- ・県内における事業活動を想定
- ・目標の達成や講ずる措置についての基本的な考え方を表現

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

### 【組織体制】

- ・必ず本社を含む体制を表現
- ・提出書に記載された方々(温暖化対策責任者、温暖化対策担当者)の位置づけを明確に表現する。

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

### 【会議体等の名称及び開催頻度】

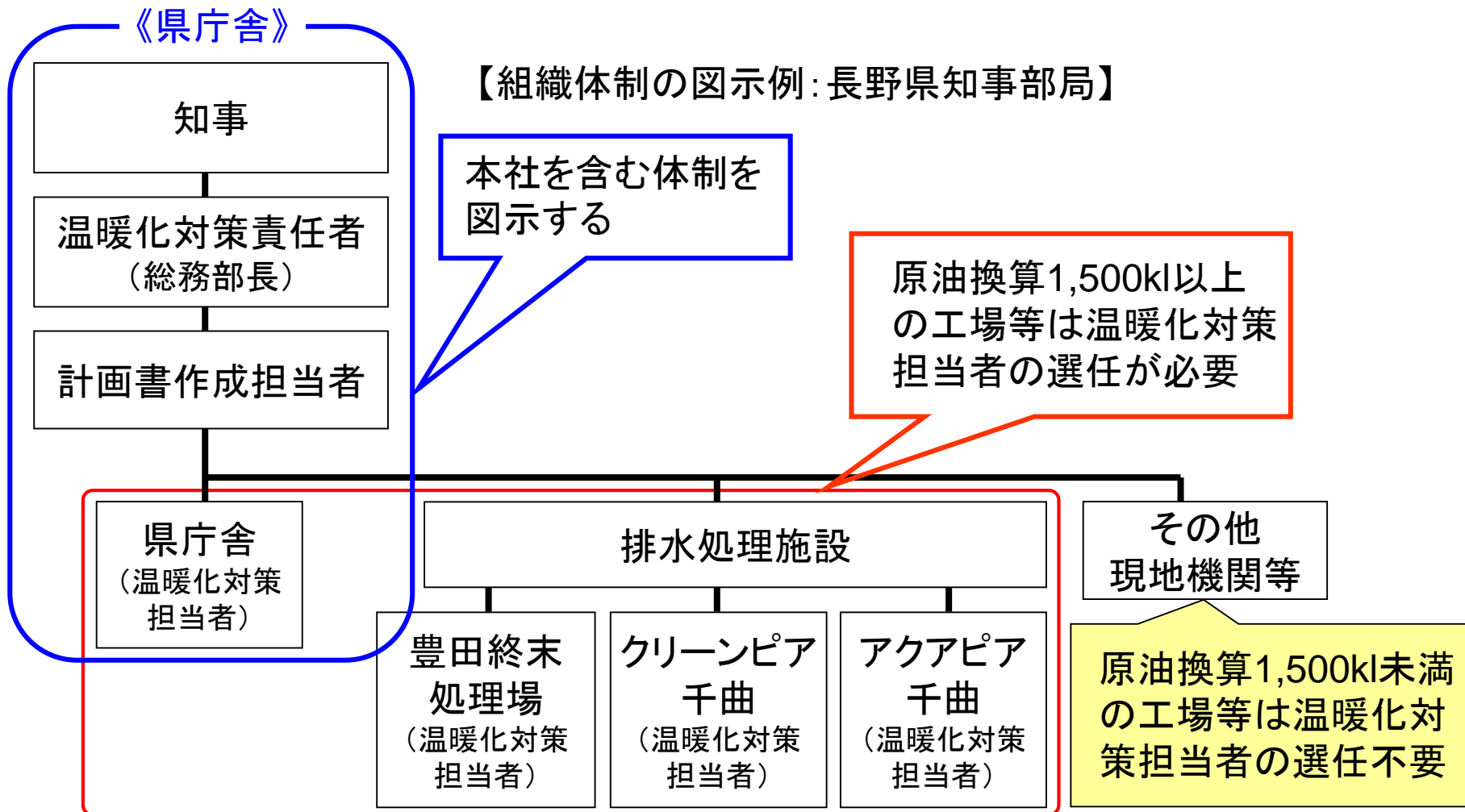
- ・温室効果ガス排出抑制のために開催する会議等の名称と開催頻度を記載

# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」



しあわせ信州

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～





# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度		基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>		単位
年度		調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度		目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
年度		目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

県内の全工場等の原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業者が記載

- ・黄色いセルには基準年度の実績と原単位、目標削減率等を入力
- ・第二次計画まで使用可能だった「寄与度の合計」は廃止
- ・排出量の目標値については、基準排出量と目標排出量より自動算定

- ・青いセルには計画期間内の実績を入力
- ・該当要件対象外の事業者は記入不要(網掛け)



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

～記載例～

・原単位が1以上となるよう、適切な単位を設定する

・調整後排出量を記入する

6の1 エネルギー起源		炭素の排出抑制に係る目標及び実績					
基準年度	基準排出量	10,000	t-CO <sub>2</sub>	売上高	100.00	単位	億円
2019年度	調整後排出量	8,141	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	100.00	t-CO <sub>2</sub> /	億円
目標年度	目標排出量	9,700	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	97.00	t-CO <sub>2</sub> /	億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で3%の削減目標を達成するとともに、ピークカットの取組を進める。						

・第三次計画より、目標削減率を手入力  
(目標原単位は自動算定)

- ・排出量と原単位双方の目標設定が必須
- ・排出量の評価は第3期計画期間より、「調整後排出量」で行います。



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

旧様式

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

排出量等に誤りが  
あった場合

説明欄に該当排出量等を  
修正したことを記載

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10,000	t-CO <sub>2</sub>	売上	100.00	単位	億円
2019年度	調整後排出量	8,500	t-CO <sub>2</sub>	基準単位	100.00	t-CO <sub>2</sub> /	億円
目標年度	目標排出量	9,700	t-CO <sub>2</sub>	原単位	97.00	t-CO <sub>2</sub> /	億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	設備更新やピークカットの取組により年1%削減を目指す。 ※2020年に提出した計画書において、基準排出量に間違いがあったため、2021年度提出の報告書にて訂正をおこなった。						

基準排出量(又は各年度の排出量)に誤りがあった場合には、**修正の理由及び内容が記載された書類並びに修正後の排出量の算定根拠資料**を提出

計画自体を改訂したときには、当室にご連絡の上、様式1～5のうち必要なものを改めて提出してください。



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%
	削減率		%			
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

県内の全工場等のその他ガス排出量合計が3,000t-CO<sub>2</sub>以上の事業者が記載

考え方は「6の1エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況」(スライド55)と同じ。



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に係る二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>		単位
年度			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
年度	目標削減率	%	目標削減率		%
目標設定に関する説明					
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>		単位
年度	削減率	%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由					
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>		単位
年度	削減率	%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由					
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>		単位
年度	削減率	%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由					

自動車の使用台数200台以上の事業者が記載

考え方は「6の1エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況」(スライド55)と同じ。  
**自動車については、第三次より原単位を追加**

総括票の重点対策記載欄も、**自動車の要件に該当する事業者のみ。**

- ・基準年度:「実施済」、「一部実施」、「未実施」から選択
- ・実施予定:「実施済」となる年度を入力
- ・第一～三年度:実施情報を表現
- ・備考:実施しない理由等を表現

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360701	ポンプの運転管理	2020	50		
2	エネ起	380752	高輝度放電ランプ等効率の高いランプの導入	2021～2022	100		
3	エネ起	400201	給湯設備の効率管理	2022	30		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

「温室効果ガスの排出の量に関する抑制目標を達成するために講じる措置」のメニュー(産業部門編と業務部門編)から選択  
 計画時の状況(黄色セル)と、実施後の状況(青色セル)を記載する。

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

自然エネルギー源利用設備の設備容量  
 基準年度・基準年度時点で導入済の容量  
 導入計画・計画期間に導入予定の容量  
 第一～第三年度・報告年度時点で導入されている総容量(累積)

『クレジット等に関する取組状況』は第三次より廃止



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

～記載例～

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量		
1	エネ起	360701	ポンプの運転管理		0		
2	エネ起	380752	高輝度放電ランプ等効率の高いランプの導入	2021～2022	100		
3	エネ起	400201	給湯設備の効率化	2022	30		
4							
5							

対策が多い場合は、削減効果の高い対策を優先的に10項目以内に収まるよう記入。

◎抑制メニューの番号と内容を記載する。近い内容も記入可。

例:150105 ノートPCのバッテリー運転

(150105は「デマンド管理」)

◎該当する番号が無い場合は、区分番号に「その他」と記入

◎計画時に記載のなかった対策を**実施した場合は**、計画欄を空欄とし、対策内容と実績を記載する。



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

～記載例～

◎導入計画の発電容量等については、計画期間中に追加する(増設する)容量を記載する。

### 9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW	100	50	120		
小水力発電設備	kW	0	50	0		

- ◎発電機器等の種類と単位を記載する。
- ◎基準年度の発電容量(発電能力)等については、総容量(累積値)を記載する。
- ◎発電量全量を売電している場合も記載可能
- ◎屋根貸しで太陽光発電設備を設置している場合も記載可能

◎報告時は、報告年度の総容量を記載する。

(例) 第一年度120  
第二年度140  
第三年度150 等



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kL以上								
1,500kL以上 3,000kL未満								
1,500kL未満								
合計								

基準年度～第三年度までの工場等の数と排出量の実績を規模別に記載

「排出量計算シート」を利用すると簡単

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>e)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

基準年度～第三年度までの排出量の実績をガスの種類別に記載

(注意: 排出があった場合は、非対象でも記載)

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数				
次世代車導入割合				

基準年度～第三年度までの次世代自動車台数の実績を種類別に記載

# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」



## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～ しあわせ信州

1 2 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数				
次世代車導入割合				

次世代自動車のうち、上記4つに該当しないものの台数を記載(水素自動車、ハイブリッド自動車等)

通常自動車、次世代自動車を含む、自動車の総数(総括票1自動車の台数より自動表示)





# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

様式1号  
(総括票)

### 1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	

実施している**交通対策**を区分ごとに記載  
 第三次計画では、「マイカー通勤」を「自転車の利用促進」に変更

### 1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> RE100にコミットしている		
	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言RE Action へ参加している		
<input type="checkbox"/> その他			

※第三次計画より新たに追加された項目  
 該当するものにチェックと、導入(実施)年度を記載  
 環境マネジメントシステムにおいては、名称も記入  
 記載されている項目以外に実施している活動があれば「その他」へ記載

### 1.5 自由記載欄

総括票に記載した削減対策等以外で対外的にアピールする取組等を記載。  
 (設備更新等も記載可能)



## Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

### 3. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

～記載例～

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	道路渋滞の発生する時間帯を中心に、支社間の移動に鉄道を積極的に利用している。自社敷地内に路線バスの停留所を設置している。
自転車利用促進	社用自転車を増やし、近距離移動の際に使用している。さらに従業員用の駐輪場の整備をしている。
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	他社と連携し、空荷を最小限にする物流マネジメントシステムを構築している。交通エコモ財団のグリーン経営認証を取得している。

具体的な取組内容を記載する

#### 来客者の交通対策(例)

- 最寄りの駅からの分かりやすい地図を作成し、要所に案内板を設置している。
- 駐車場を利用しない顧客に対し、ポイントを付与している。
- 近隣の駅・公共施設までの送迎バスを運行している。 等



# Ⅲ. 「事業活動温暖化対策計画書記入要領」

## 2. 「計画書・報告書」作成の留意点 ～様式1(総括票)～

～記載例～

### 1 4 環境配慮活動状況

		実施内容	実施年度
<b>実施している対策は全てチェックしてください。</b>			
<input checked="" type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ	
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入 名称 <b>ISO14001</b> ①	2019
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している	
<input type="checkbox"/>	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している	
<input type="checkbox"/>	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている	
<input checked="" type="checkbox"/>	RE100	<input type="checkbox"/> RE100にコミットしている	
		<input checked="" type="checkbox"/> 再エネ100宣言RE Action へ参加している	2019
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	グリーン購入を社内で推奨している。 ②	2019

現在導入しているものが対象となります。

### 具体的な取組内容を記載する

- ① ISO14001、エコアクション21、地方自治体やNPO等が策定したもの
- ② 緑化、自然保護活動、廃棄物の減量化、地域の環境学習への参加 など